

CHIBA PUBLIC DEBATE 2012

2012.12.02 千葉中央図書館 生涯学習センター3F 大研修室

主催：NPO 法人にここ稲毛、淑徳大学コミュニティ政策学部矢尾板俊平研究室、ちば学生ネット

衆議院議員選挙千葉第一選挙区立候補予定者討論会

千葉から日本を元気にする公開討論会

～12.16 衆院選候補者それぞれの熱き想いを語る～

参考資料

※本資料は、衆議院議員選挙千葉第一選挙区立候補予定者に事前アンケートを11月28日（水）から11月30日（金）までの期間に実施し、回答内容を原文のまま、質問項目ごとに作成したものです。

Q1. 消費増税に賛成ですか？反対ですか？またその理由は何ですか？

立候補予定者名		当日回答	事前アンケート回答
田嶋 要	民主・前	○	賛成。消費増税は避けては通れない。増大する社会保障費をこれ以上国の借金で賄うことは、危険かつ無責任。ただしデフレ脱却できなければ増税の時期に遅れもありうる。
門山 宏哲	自民・新	○	賛成。増大する社会保障関連費をまかなうためには、緊急性の観点からやむを得ない。
寺尾 賢	共産・新	×	反対です。消費税増税は国民生活に計り知れない打撃を与え、日本経済をどん底に突き落とし、財政破たんをいっそうひどくします。所得の少ない人ほど負担が大きく、社会保障の財源としてもっともふさわしくない税金です。社会保障の財源は大型開発や軍事費など税金の無駄遣いの一掃とともに富裕層・大企業優遇の不公平税制を見直すことなどでまかないます。
西野 元樹	みんな・新	×	反対です。デフレ下で増税をしても経済が冷え込み、税収は逆に下がってしまいます。また、無駄の削減への取り組みも不十分です。
田沼 隆志	維新・新	×	今すぐの増税には反対。増税の前に、社会保障費の削減などの支出抑制に取り組むべき。その結果、財源が足りなければ増税もやむをえない。

※『当日回答』は、討論会当日にボードに記載した内容（○、△、×のいずれかを記載）

Q2. TPP への参加には賛成ですか？反対ですか？またその理由は何ですか？

立候補予定者名		当日回答	事前アンケート回答
田嶋 要	民主・前	○	交渉参加に賛成。先入観や被害者意識を持たず、まず国益にかなった交渉をすべき。輸出産業の競争力を高め、空洞化に歯止めを掛ける一方で、一次産業と国民皆保険は絶対に守り抜く。
門山 宏哲	自民・新	△	聖域なき関税撤廃を前提にする限り反対。自由貿易は推進すべきであるが、他方で交渉力のない政権が国益を損ねるような安易な妥協をすることがないようにせねばならない。
寺尾 賢	共産・新	×	反対です。TPP は「例外なき関税ゼロ」を前提とした枠組みであり、農水省の試算でも食料自給率が39%から13%になるなど、日本の食と農林水産業をおもとから破壊するものです。また「非関税障壁の撤廃」という名で、食の安全、医療、金融、労働など国民生活のあらゆる分野で「規制緩和」と「アメリカ式の経済ルール」がおしつけられます。日本経済を丸ごとアメリカに売り渡すものであり、JA や日本医師会など幅広いみなさんが反対の声をあげているのは当然です。貿易のルールは各国の経済主権、食料主権を尊重し、平等・互惠の関係のなかで確立します。
西野 元樹	みんな・新	○	賛成です。日本のモノ作り、金融、サービス輸出などを強化していくためには TPP を含めた FTA・EPA を推進していく必要があります。農業など影響を受けるであろう分野については、聖域とせずに減反廃止と関税撤廃を基本に、「輸出する農業」への転換を図ります。 また、海外での資源権益確保のためにも TPP、FTA・EPA を推進していくべきと考えます。
田沼 隆志	維新・新	○	交渉参加賛成。世界の市場の中で存在感を発揮するためには、保護主義ではなく競争環境に身をおくことが必要。ただし、国益に反するなら断固撤退すべき。

※『当日回答』は、討論会当日にボードに記載した内容（○、△、×のいずれかを記載）

Q3. 原発問題へのスタンスはどのようなスタンスですか？またその理由は何ですか？

立候補予定者名		事前アンケート回答
田嶋 要	民主・前	電気料金など克服すべき課題はあるが、2030年代の原発稼働ゼロに国を挙げて挑戦したい。再エネ・新エネ・省エネの推進とシステム改革の断行、火力の技術革新が鍵。
門山 宏哲	自民・新	原子力に依存しなくてもよい社会の確立を目指し、技術革新や再生可能エネルギー等の開発に努力するが、他方でエネルギーを安定的かつ安価に供給するためには安全性を確認した上で原発を再稼働することはやむを得ない。
寺尾 賢	共産・新	原発については即時ゼロにするべきです。すべての原発を停止させたまま廃炉のプロセスに入ります。福島原発事故の被害はいまだに拡大を続けており、二度と原発事故を起こすことは許されません。同時に歴史的な猛暑となった今年の夏も、原発を稼働しなくても電力不足は起きなかったことが証明されました。過渡的な緊急避難措置として火力発電によって電力確保をしながら、自然エネルギー・再生可能エネルギーの大規模な普及を進め、低エネルギー社会への転換をはかることで即時原発ゼロは可能です。
西野 元樹	みんな・新	脱原発、原発ゼロを目指します。環境面でのリスクが無限大に大きい原発ですが、発電コストについても優位性はなく、電力の自由化を進め、脱原発、原発ゼロを実現させます。
田沼 隆志	維新・新	家計や企業の負担を考えると、即時の全廃は反対。時期の明示も再生可能エネルギーの研究開発状況の予測ができないため、難しい。独占となっている電力業界のあり方は断固改革すべき。

Q4. 地元千葉の経済活性化、産業政策、雇用政策など、今後、どのような政策が必要になると思いますか？

立候補予定者名		事前アンケート回答
田嶋 要	民主・前	地域資源を生かした経済活性化、新産業育成と雇用創出が基本。具体的には風力発電や洋上風力発電、バイオマスや森林を活用した木質バイオマス発電、小水力発電などの再生可能エネルギー、製鉄産業との連携をした水素関連・燃料電池関連産業の育成、全国第三位の規模の農業の付加価値を高める六次産業化、医療・福祉分野の支援による雇用の創出が必要。こうした成長分野に挑戦する中小企業を支援し、さらに中小企業の海外進出を支援する。
門山 宏哲	自民・新	<ul style="list-style-type: none"> ①日銀と協調してより一層の金融緩和を図ること。 ②高い法人税を是正すること。 ③柔軟な雇用法制をとること。 ④エネルギーの安定かつ安価な供給に官民あげて努力すること。 ⑤真に経済発展に資するように有効需要を創出すること。
寺尾 賢	共産・新	千葉県でも商店街など地域経済が疲弊しています。地域経済を活性化させるためにも、国民の所得を増やし、経済を内需主導で安定した成長の軌道に乗せる民主的な経済改革が必要です。解雇規制法など雇用を守るルールづくり、非正規雇用労働者の正規雇用化、最低賃金の大幅な引き上げ、長時間・過密労働の是正、大企業と下請け中小企業との公正な取引ルールをつくるなど、政治の責任で国民の暮らしと権利を守る改革を行います。自然エネルギーの普及も地域経済への貢献になります。この改革によって、260兆円にもおよぶ大企業の内部留保を日本経済に還流させ、内需主導の経済成長をはかります。
西野 元樹	みんな・新	地元千葉の経済活性化のためには、日本経済同様、円高・デフレからの脱却、大胆な規制緩和が必要です。JFE 東日本製鉄所を始めとする千葉のモノ作りの強化のため、貨物取扱量全国2位、日本3大貿易港にも数えられている千葉港を貿易特区に指定し、貨物荷卸し・積込みの24時間化、通関手続き、保税貿易手続きの簡略化を行い、千葉の貿易、モノ作りのコラボレーションにより、千葉を活性化させます。
田沼 隆志	維新・新	IRの誘致を経済発展の起爆剤にすべき。税収も増えるし、雇用も生まれる。いままでの延長ではだめで、ワクワクする、人が訪れたいような街にする必要がある。

Q5. 候補者の政治信条、立候補の理由を教えてください。

立候補予定者名		事前アンケート回答
田嶋 要	民主・前	<p>政治信条：苦しんでいる人々のために自ら汗をかく。子供たちの笑顔が増える日本を創る。世界の平和と繁栄にこれまで以上に貢献できる日本を創る。</p> <p>立候補した理由：気力・知力・胆力・体力が充実している今の自分を、世のため・人のために使っていきたいから。</p>
門山 宏哲	自民・新	<p>広く社会正義の実現を図るべく、また、現在の日本の政治状況に危機感をおぼえ、公募により政治活動をはじめました。弁護士として活動するなかで、社会を変えていくには法律自体を変え、政治に関わっていく必要があると考えました。</p>
寺尾 賢	共産・新	<p>私は青年団体の責任者として、東日本大震災の救援ボランティアや、原発ゼロをめざす運動、大学などの学費負担軽減を求める運動、就職難の解決と雇用条件を改善させる運動など青年の要求実現をめざす運動にとりくんできました。そうした運動にとりくむなかで、国民・青年の困難のおおもとに古い自民党型の政治＝財界中心、アメリカいいなりの政治があることを痛感してきました。青年の要求を実現するために政治をおおもとからきりかえなければならない、そんな思いで立候補を決意しました。</p>
西野 元樹	みんな・新	<p>15年間、レアメタル商社マンとして民間企業で日本の資源確保に従事しておりました。2010年9月の尖閣諸島沖での漁船衝突事件の際の日本政府の対応に危機感を持ちました。事件後ただちに資源問題だけでなく、多くの問題に対し、“先送り”を続ける今の政治を変えていきたい、子供たちに日本人に生まれて良かったと思える日本を残したいと思い、みんなの党の次期衆院選候補者公募に応募いたしました。</p>
田沼 隆志	維新・新	<p>「媚びない政治、ブレない政治、伝える政治」</p> <p>市議会で全力で教育改革に取り組んできたが、根本的に改革するためには、国の制度変更が必要という考えに至った。</p>

Q6. 有権者の皆さんへのメッセージをお聞かせください。

立候補予定者名		事前アンケート回答
田嶋 要	民主・前	<p>膨らむ国の借金、消えた年金問題、拡がる格差など、負の遺産を打破すべく、政権交代を成し遂げました。民主党政権の成果と失敗を踏まえ、震災と原発事故の苦難を乗り越え、古い政治に時計の針を戻さずに、エネルギー革命を中心とした新しい国づくりに挑戦するために、立候補を決意しました。</p> <p>半世紀以上の古い政治の後、政権交代が実現し、3年余り与党議員として国政に取り組んでまいりました。さまざまな成果と多くの失敗と、両方がありました。これらから学び、これまで以上に改革を前へと進めてまいります。暮らしの安心と元気を増やしてまいります。ぜひ、皆様の力をお貸しください。</p>
門山 宏哲	自民・新	<p>「あなたが誇れる日本へ」。未来の子どもたちのために、日本の政治・経済・そして文化は世界に誇れるものだと、胸を張って言えるような国づくりを目指します。</p> <p>どうぞよろしくお願ひします。</p>
寺尾 賢	共産・新	<p>私はこの間の活動のなかで様々な方からお話をうかがってきました。震災ボランティアのときにお話をうかがった旭市の仮設住宅で暮らす被災者の方は、劣悪な環境のなかで「ここを出てもいくところがない。先がまったく見えない」という切実な思いをうたっていました。また福島県出身の学生の方は、「原発事故後の1ヶ月間は風評被害でまったく物資が入ってこなかった。その1ヶ月は死を覚悟した。二度とこんな思いを味わいたくないのに、原発を再稼動するなんて考えられない」という思いを話してくれました。こうした思いにこそ政治がこたえることが求められています。今度の総選挙でこうした国民・青年のみなさんの声にこたえる政治を何としてもつくりたいと思っています。「被災者本位の復興をしてほしい」「原発は今すぐなくしてほしい」「消費税増税はやめてほしい」「人間らしく働きたい」「お金の心配なく学びたい」—この願いにこたえる政治をつくるためにぜひ国会で働かせてください。よろしくお願ひいたします。</p>
西野 元樹	みんな・新	<p>選択の選挙が迫ってまいりました！ 皆さんが日本の将来を決める選挙です。増税を行うのか？ 阻止するのか？ 原発を推進するのか？ 脱原発か？ 中央集権、官僚統制のパラマキ・大きな政府を維持するのか？ 地方分権、民間主導の小さな政府に変えていくのか？皆さんの選択により、日本の将来が決まります。是非、今回の選択で停滞の20年を終わらせましょう！</p>
田沼 隆志	維新・新	<p>いまや日本は沈没寸前です。この閉塞状況を打破するためには、しがらみのない第三極による政治の変革が必要です。嫌われる覚悟でタブーと戦う政治こそが、未来を切り開きます。</p>

Q7. 特に若い世代の有権者の皆さんへのメッセージをお聞かせください。

立候補予定者名		事前アンケート回答
田嶋 要	民主・前	<p>子供たちや若い世代の人々ほど、長い人生が政治によって左右されます。国の借金の問題や、原発から生じるゴミの問題などは、本当に困難な問題です。3期9年余りの国政での経験を生かし、皆さんの世代に今よりも少しでも素晴らしい日本を受け継いでいけるように、そして負の遺産を減らしていけるように、これからも全力で働きます。ぜひ、皆様の力をお貸してください。</p>
門山 宏哲	自民・新	<p>私はサラリーマンの息子であり、親族や周囲にも政治家はおりませんでした。若いころから政治に関心を持っていました。これからの国の方向を決めるのは皆様です。是非、政治に関心を持って「未来の子どもたちのために」正しい選択をお願い致します。</p>
寺尾 賢	共産・新	<p>若い世代のみなさんのなかには政治へのあきらめや閉塞感が根強いのではないかと思います。就職難や長時間過密労働、不安定雇用など雇用条件の悪化や重い学費負担、子育てしづらい現状、将来への不安など若い世代のみなさんの生きづらさの根源には政治の問題があります。青年の要求実現の先頭に立ってきた私だからこそ、みなさんの願いにこたえることができます。歴史をふりかえれば社会が大きく動くときにその先頭にたってきたのは青年でした。今の政治をおおもとから転換し、青年の希望ある未来をともにきりひらきましょう。</p>
西野 元樹	みんな・新	<p>今まで政治は、若い世代に対しては目を向けずに、選挙に来てくれる老人優遇の政治が続いてきました。皆さんが日本を変えていくためには、政治を変えていく必要があります。そのための第1歩が皆さんの投票です。皆さんの投票がなければ、今までの変わらない政治が続くだけです。皆さんの国であり、皆さんの将来の子供たちの国でもある日本を変えていくため、政治を諦めないで下さい。是非、投票に行きましょう！</p>
田沼 隆志	維新・新	<p>今の日本は世代間格差が広がっています。払っても返ってこない年金が最たる例です。日本維新の会は高齢者にも適正な負担を求めます。現役世代のために政治のシステムを作り替え、成長できる社会を目指します。共にがんばりましょう。</p>